内部評価

## 平成30年度 事務事業自主点検シー

様式1-1

事業名 キャンパスネットやまなし運営費 調書番号 細事業名 その他の事業経費(キャンパスネットやまなし運営費) 財務コード 581802 12 担当部課室 県民生活 生涯学習文化 課 生涯学習企画 担当 (内線) 部 1656 事業の概要 実施期間 始期 H14 年度 終期 年度 ~ 県(直営) 実施主体 その対象をどのような状態にして 結果、何に結びつけるのか だれ(何)を対象に 自由に学ぶことができ、その成果が適切に 評価され、社会参加につながっている。 教育課程にある者、勤労者、家庭人、 生涯学習活動の促進 目的 中高齢者など、県民全般 ○事業概要:キャンパスネットやまなしの運営及び普及啓発を行う。 ○事業内容 内容 ・入会者の募集(入会者募集用リーフレットの作成(5,000部)) ・まなびの手帳の交付 ·奨励賞の交付 H29末実績278名 累計4,143名 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況) 30年度 28年度 29年度 区分 指標 25年度 26年度 27年度 31年度 目標 5,000部 5,000部 5,000部 5,000部 5,000部 5,000部 5,500部 実績(見込) 5 000部 5 000部 5 000部 5 000部 5 000部 5 000部 入会者募集用リーフレットの発行 活動指標 達成率 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 達成区分 h h b h b h 目標 280人 290人 290人 300人 300人 310人 310人 実績(見込) 306人 288人 354人 307人 225人 280人 キャンパスネットやまなし新規会員 成果指標 達成率 109.3 99.3 122.1 102.3 75.0 90.0 達成区分 b b b b a 決算(予算) 単位:千円 710 125 253 44 126 274 Ⅲ 事業の評価(平成29年度の業績評価) 活動指標 h 価 当事業は、県民の生涯学習を総合的に支援する仕組みとして、主に県民への生涯学習勧奨事業と位置づけている。平成29年度 成果指標 は目標に達しなかったが、これまでの取組みにより、毎年一定の入会者が確保され入会者累計は伸びており、生涯学習に取り組む С 県民は着実に増えている。 「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方) ✓ 必要性が高い □必要性が低い 必要性がある程度認められる 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている ✓ 法令等により、県が実施することが義務づけられている 県関与の 昍 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる 必要性 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 ✓ その他 ( ) 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律では、県が生涯学習の推進に努めるよう明記されている。 明 大幅な成果向上が可能 □ 成果向上はあまり望めない 有効性 生涯学習推進センター業務受託先に毎月の新規会員目標数を設定した結果、平成30年度は平成29年度の同期(7月)より新規会員数が増えてい (成果向上) る。また、周知方法等の見直しにより今後も会員の増加が期待できる。 見直す余地がある ✓ 見直す余地がある程度ある 見直す余地がない 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある |業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある 見直しの |√|サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある 余地 |実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある 昍 ──投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある その他 その他 見直しの キャンパスネットやまなし新規会員数を増やす取り組みを充実させるとともに、効率的な予算執行を検討する必要がある。 必要性 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況) 実施方法等 説 入会者募集用として作成しているリーフレットの印刷仕様及び周知方法等の見直しにより、新規会員数の増加に取り組む。 の変更 昍